

首里城公園

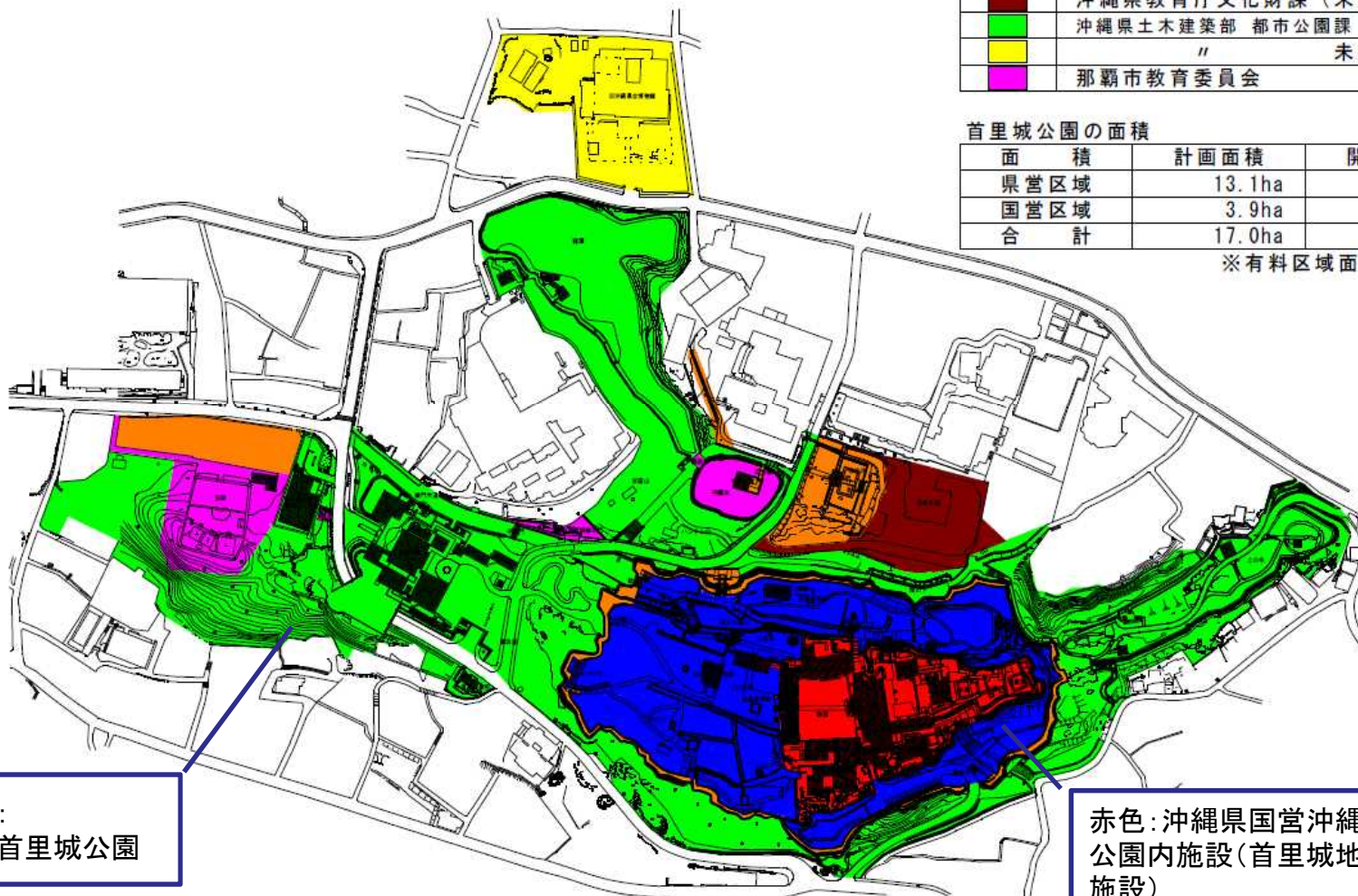
令和4年度モニタリング結果の検証

1. 首里城公園の管理区分について
2. 入域観光客と入園者・入場者の推移
3. サービスの安定性の評価(財務状況)
4. 履行確認・評価
5. サービスの質の評価(利用者アンケート結果)
6. 総合評価

令和5年8月24日 沖縄県都市公園課

1. 首里城公園内の管理区分について

首里城公園管理区分図



凡例	管理区分
■	沖縄県土木建築部 都市公園課 沖縄県国営沖縄記念公園内施設（首里城地区内施設）
■	沖縄総合事務局
■	沖縄県教育庁文化財課
■	沖縄県教育庁文化財課（未開園部分）
■	沖縄県土木建築部 都市公園課
■	〃 未整備区域
■	那覇市教育委員会

首里城公園の面積

面積	計画面積	開園面積
県営区域	13.1ha	7.21ha
国営区域	3.9ha	3.90ha
合計	17.0ha	11.11ha

※有料区域面積 1.45ha

緑色：
県営首里城公園

赤色：沖縄県国営沖縄記念公園内施設（首里城地区内施設）
→「有料区域」と呼ぶ

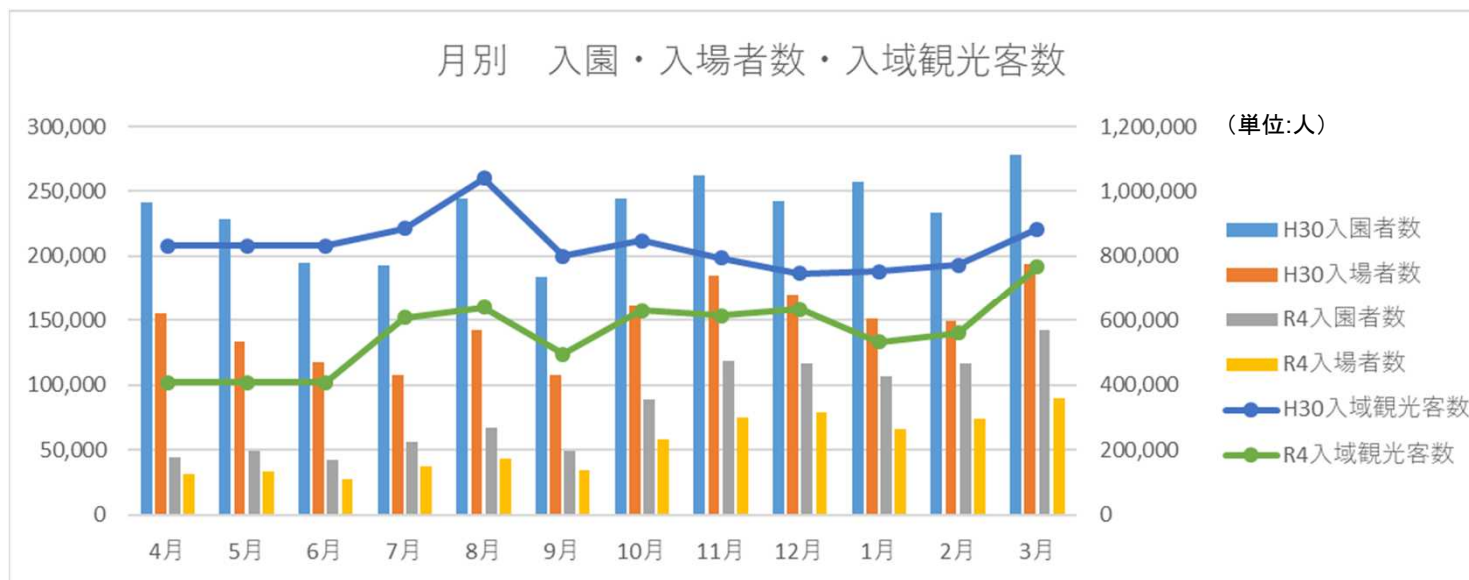
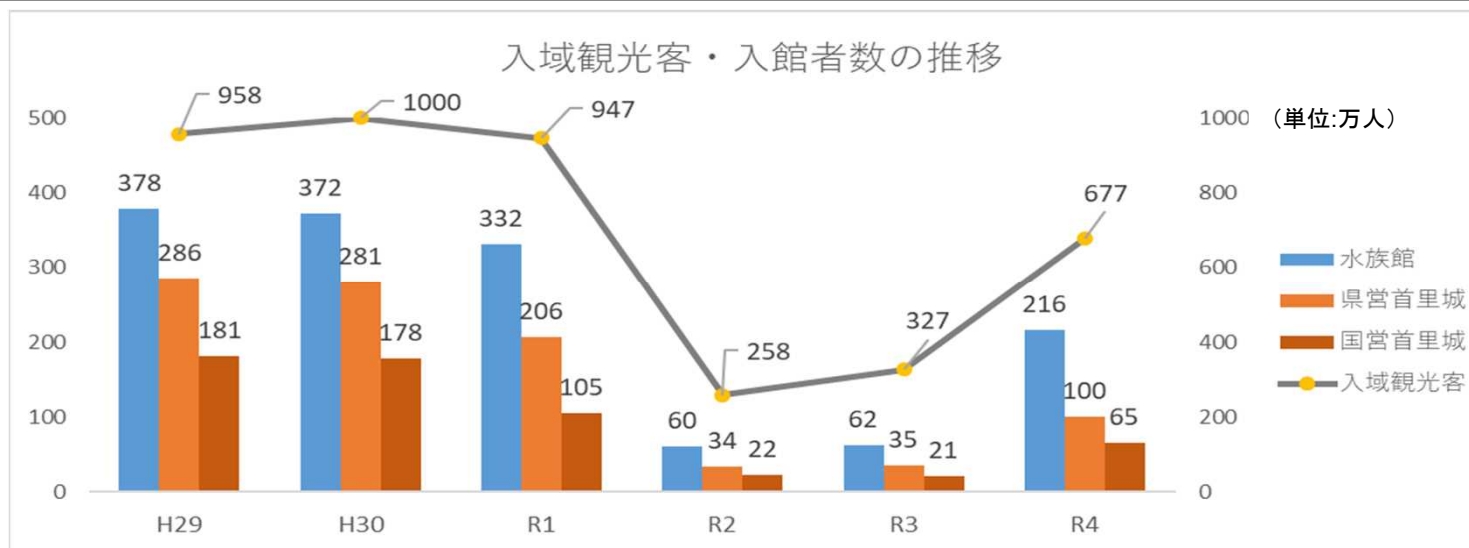


有料区域内の沖縄県の管理エリア



2. 入域観光客と入園者・入場者の推移

- 令和4年10月以降の全国旅行支援等の影響による旺盛な観光需要を取り込み、入園（場）者数は大幅に回復し、入園者は前年度比+185.0%、入場者が前年度比+208.2%（入域観光客+106.9%）。
- 入域観光客に占める入園者の割合は14.8%となっており、火災前水準28.1%に達していない。



3. サービスの安定性の評価(財務状況)－首里城有料区域

- 令和4年10月以降の全国旅行支援等の影響による入域観光客の増に伴う入園(場)者数の増や、全国旅行支援等の影響で一人当たり単価が増加したことから、入場料及び売店等の収入は、前年度比+211.1~309.1%となった。特に、令和4年5月から販売を開始した「御城印」が好評で、売店等収入の増を後押ししている。支出においては、指定管理者がコロナ禍の経営努力として行っていた賞与80%カット等を終了したこと等から、管理運営経費は前年度比+54.1%となっている。
- 首里城火災によって主な見学対象施設が焼失し、入場料収入等で管理運営経費が賅えない見通しであったことから、令和4年度から県から国へ支払う土地・施設使用料が全額免除され、指定管理者の固定納付金及び県からの補助金は0円となっている。また、県から指定管理者に対して、指定管理料(約2.4億円)を交付している。

(単位：千円)

		H30 2ヶ月	R1	R2	R3	R4	対前年度比
収入	入場料	236,694	669,068	72,375	68,758	213,900	311.1%
	売店等	60,856	264,249	21,692	38,115	155,915	409.1%
	県補助金			31,850	34,722	0	0.0%
	指定管理料					242,903	皆増
	その他	90	19,796	56,640	43,872	7,369	16.8%
	計	297,640	953,113	182,557	185,467	620,087	334.3%
支出	管理運営経費	218,905	1,077,142	467,688	388,777	599,025	154.1%
	固定納付金	37,694	136,050	31,850	34,722	0	皆減
	公園関連事業等	1,264	39,835	13,511	10,142	21,811	215.1%
	計	257,863	1,253,027	513,049	433,641	620,836	143.2%
	収支差	39,777	-299,914	-330,492	-248,174	-749	

3. サービスの安定性の評価(財務状況)ー県営首里城公園

- 県営首里城公園は、利用料金収入で管理運営経費が賄えない施設として、従来より指定管理者に対し、指定管理料年約1.6億円を支払っている。
- 令和4年10月以降の全国旅行支援等の影響による入域観光客の増に伴う入園（場）者数の増で、駐車場料金収入は前年度比+194.9%となった。令和3年度は新型コロナの感染拡大防止のため121日間閉鎖していたため、入園者の前年度比（+185.0%）を上回る増加率となっている。
- 支出においては、指定管理者がコロナ禍の経営努力として行っていた、賞与80%カット等を終了したことや、開場日数の増による光熱水費や警備費用の増により、管理運営経費は前年度比+16.0%となっている。

(単位：千円)

		R1	R2	R3	R4	対前年度比
収入	駐車場収入	89,951	23,382	18,976	55,951	294.9%
	他利用料金収入	969	1,256	548	742	135.4%
	指定管理料	165,253	189,378	161,462	161,462	100.0%
	その他	17,077	15,191	22,265	7,365	33.1%
	計	273,250	229,207	203,251	225,520	111.0%
支出	管理運営経費	282,491	229,185	196,212	227,538	116.0%
収支差		-9,241	22	7,039	-2,018	

4. 履行確認・評価

<首里城有料区域>

維持管理業務

- ・施設維持管理
- ・漆の塗り直し等の予防保全
- ・安全衛生管理
- ・その他維持管理に関する業務

運営業務

- ・入場料収受
- ・首里城復興普及啓発
- ・復元整備に関する展示解説等
- ・行催事
- ・売店営業等
- ・広告宣伝・誘客営業活動及び利用促進計画
- ・利用者案内・警護
- ・その他運営に関する業務

自主事業(関連事業)

- ・企画調査研究
- ・地域還元事業
- ・公園関連事業

<県営首里城公園>

維持管理業務

- ・施設維持管理
- ・清掃
- ・植栽管理
- ・警備及び利用者誘導
- ・施設管理
- ・修繕

運営業務

- ・行為の許可手続き
- ・利用料金の徴収に関する業務
(駐車料金、行為の許可)

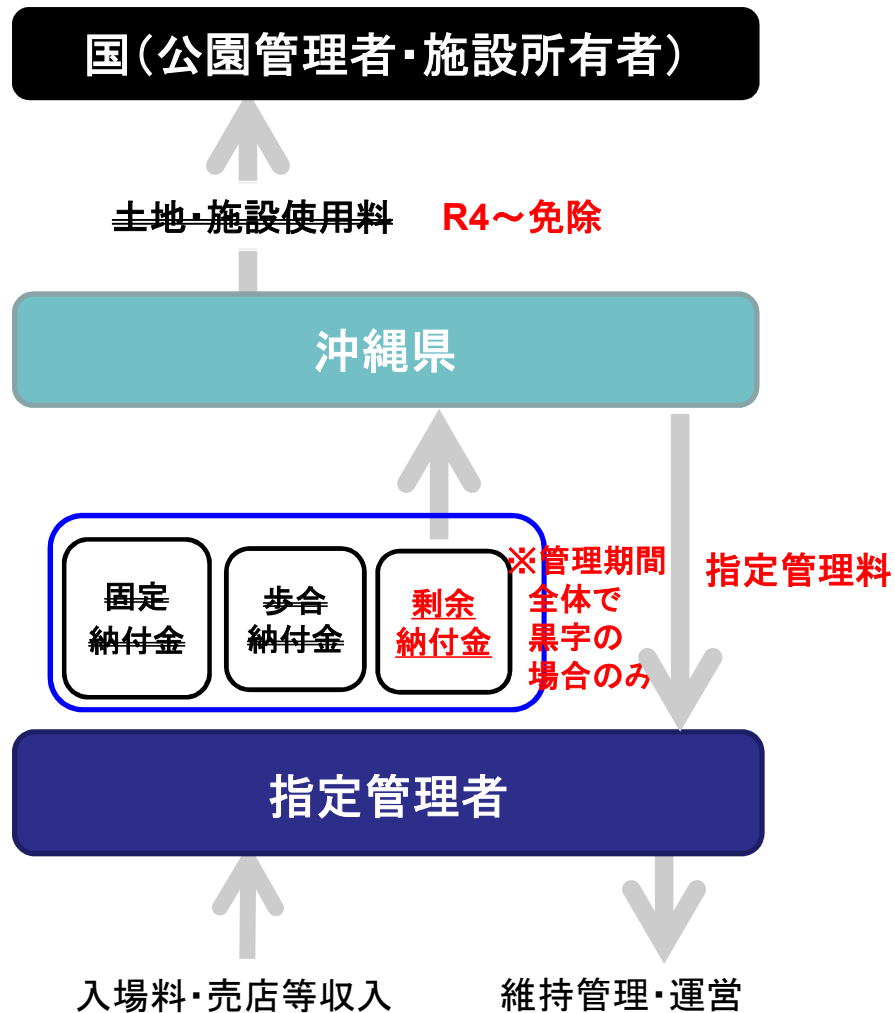
自主事業

- ・首里杜館の売店及びレストラン
- ・本設店舗の売店
- ・城郭内と連携した各種イベントの開催

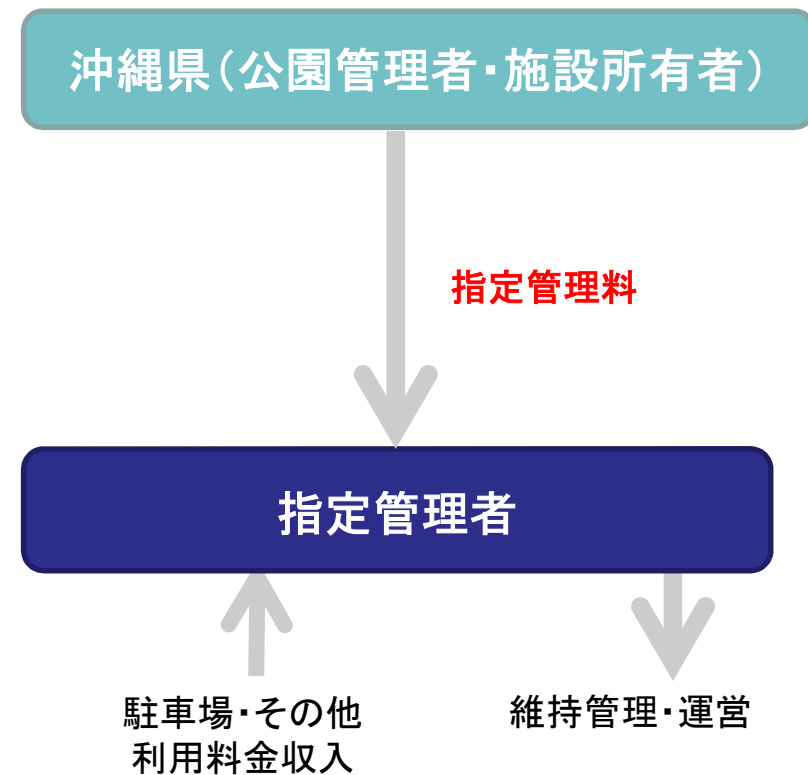
※下線部：4-1月の10ヶ月と2-3月の2ヶ月で変更があった箇所

4. 履行確認・評価

<首里城有料区域>



<県営首里城公園>



安全衛生管理－防火管理について

現状分析・課題

- 以下の取組内容が良好に実施されていることを確認。
 - ・ 毎月県・国と連携し、奉神門管理事務室、首里杜館（防災センター）、公園管理センター、工事警備室の4か所の管理室と国の工事エリアを含む公園全体で様々なリスクによる訓練を実施。
 - ・ 国・県・指定管理者と合同で振り返りを実施し、課題を抽出して改善に努めた。

取組改善案

- 防犯・防災、利用者の安全対策において万全を期すため、マニュアル等の更新および訓練を定期的に行う必要がある。
- 特に、有料区域内においては、工事関係者の入れ替わりや見学エリアの拡張があることから、引き続き正殿復元整備工事の進捗に応じて随時訓練を実施し、精度を上げる必要がある。

<木材倉庫・加工場、原寸場、素屋根、整備イメージ>



- ・ 令和4年12月
原寸場・木材倉庫の完成による見学エリアの変更
- ・ 令和5年夏頃
素屋根見学エリアの供用開始

5. サービスの質の評価(利用者アンケート結果)

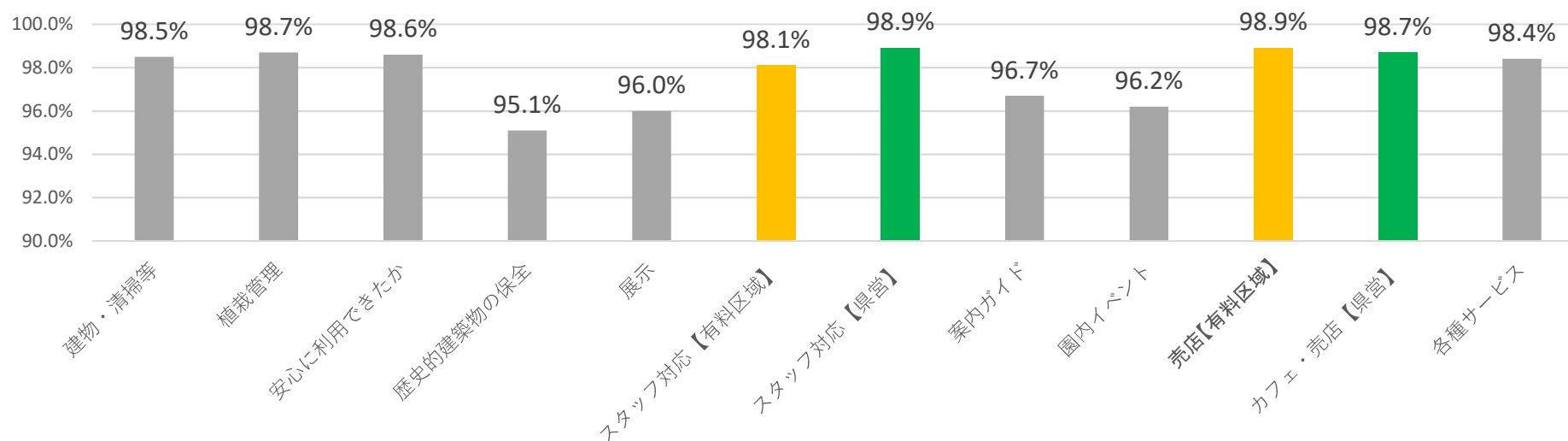
アンケートの手法と結果

- 記入用紙とアンケート回収箱を園内7か所に設置。回答件数は、R4年度合計で1,989件。入園者数に対する回答率は0.2%となっている。
- 首里城有料区域、県営首里城公園ともに全てのカテゴリで高い満足度を維持できている。

取組改善案

- 引き続き、お客様のご意見を収集・分析し、今後の管理運営の課題解決につなげる必要がある。
- 改善要望(お客様の声)及びその対応を積極的にホームページ等で公開し、アンケート回答数の増加に取り組む必要がある。
- WEB回答を導入し、作業の効率化を図る必要がある。

「満足」「どちらかという満足」と回答した方の割合



6. 総合評価(年度合算)-首里城有料区域

評価項目	評価指標	令和3年度実績	事業計画(目標値)	令和4年度実績		現状分析・課題		評価(点数)	取組改善案
				前年比	計画比				
成果指標	①利用状況	入場者数	210,978人	521,000人	650,539人	308.3%	124.9%	S (20)	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、インバウンドやクルーズ船が本格化することから、旅行商品の造成など旅行事業者と連携を密にし入場促進を図る必要がある。 ・正殿等の再建に合わせて、「今の首里城」の状況や魅力を的確に届けられるよう、SNS活用等を含めた広報手段の検証や充実が必要である。 ・開場時間が通常通りとなり運営時間が長くなることから、夜間の入場促進のためのPRを行うとともに、よりきめ細かな利用分析を行い、公園運営に役立てる必要がある。
	②満足度	満足度	97.1%	90%	98.8%	101.8%	109.8%		
財務指標	③財務状況	収益率	-133.8%	-97.4%	-0.1%	-	-	B (0)	<ul style="list-style-type: none"> ・入場者の増加などにより運営経費が増加したものの、収入がそれを上回り事業収支は黒字となっている。 ・令和5年度からは通常の開場時間に戻る(運営時間が長くなる)ことに伴う経費の増加が見込まれることや、令和4年度年間の収支は赤字であることから、より一層の効率的運営が必要となる。
活動指標	④重点取組事項	HPアクセス数	2,165,177件	-	3,425,747件	158.2%	-		
総合評価	概ね良好に実施できている。 引き続き、入場者数の確保に努めるとともに、経費の節減に図り、収支改善に取り組まれない。							S (40)	

6. 総合評価-県営首里城公園

評価項目	評価指標	令和3年度実績	事業計画 (目標値)	令和4年度実績	令和4年度実績		現状分析・課題	評価 (点数)	取組改善案	
					前年比	計画比				
成果指標	①利用状況	利用者数	349,964人	700,000人	997,368人	285%	142%	・新型コロナウイルス感染に係る国や県の行動規制等の緩和により、入域観光客が増加したことで、前年度実績を大幅に上回った。	S (20)	・国内外の観光客が今後増加することが見込まれることから、広報を充実させる等入園者・リピーターの増加に取り組むこと。
	②満足度	満足度	97.1%	90%	98%	101%	109%	・昨年度と同様高い評価を受けており良好な結果となっている。 ・前年度に比べ入場者の伸びに対してアンケート回収数が伸びていないことから、アンケート回収数の増加に向けた取組が必要である。	S (20)	・アンケート回収方法について、WEB方式の導入や、改善要望(お客様の声)及びその対応を積極的に公開することによりを導入することにより、アンケート回収数の増加や、事務の効率化に向けて取り組む必要がある。 ・引き続き、来園者アンケート等でお客様のご意見を収集・分析し、今後の管理運営の課題解決に繋げる必要がある。
財務指標	③財務状況	収益率	3.5%	-13.4%	-0.9%	-	-	・自主事業が赤字となったため、自主事業からの繰入が出来なかったが、利用者の増加に伴い収入が増加し、支出についても計画の範囲内に抑えることで、計画よりも収益率は改善しているものの赤字を回避するには至っていない。	B (0)	・引き続き収支改善に向けた取組が必要である。 ・高騰する光熱費等に注視しつつ、引き続き経費の効率的運用に取り組むとともに、収入の確保に向けて首里城公園全体で来園者を呼び込み等の施策に取り組む必要がある。
活動指標	④重点取組事項	アンケート回収数の増加	1,821件	-	1,989件	109%	-	・来園者は増加しているが、回収件数は微増にとどまっている。	-	・アンケート回収方法について、WEB方式の導入や、改善要望(お客様の声)及びその対応を積極的に公開することによりを導入することにより、アンケート回収数の増加や、事務の効率化に向けて取り組む必要がある。

総合評価	概ね良好に実施できている。 引き続き、入場者数の確保に努めるとともに、経費の節減に図り、収支改善に取り組まれない。	S (40)
------	--	-----------